

臨床で働くということ ～選択を巡る苦悩を引き受ける～

講師 **宮子あずさ** さん

profile 東京厚生年金病院に22年勤務。経験は内科、精神科、緩和ケアの3病棟。看護師長歴7年。看護師として働きつつ、看護雑誌を中心に文筆活動、講演を行う。1987年から2009年3月まで、東京厚生年金病院に22年勤務。経験は内科、精神科、緩和ケアの3病棟。看護師長歴7年。

Books 『両親の送り方—死にゆく親とどうつきあうか』(さくら舎, 2016/8)
『訪問看護師が見つめた人間が老いて死ぬということ』(海竜社, 2015/9)
『看護師という生き方』(ちくまプリマー新書, 2013/9)
『お世話する人・される人がラクになる介護』(PHP 研究所, 2013/9)

ケアの営みは、限りあるいのちを生きる私たち人間が、その「弱さ」ゆえに与えられた豊かな可能性です。しかし私たち一人ひとりが、ケアを見つめ、引き受けていかなければ、その豊かさは容易に損なわれ、見失われてしまうでしょう。

本年度の講座では、昨年度の「ケアの哲学入門」に引き続き「ケアとは何か」という根本的な問いを大切にしながら、人生の様々な場面に即して、いったいどのような「ケアの姿勢」が私たちの生(いのち=暮らし)をつなぎ、支えていくのかを、様々な角度からご一緒に考えてまいります。

本講座第2回目は、看護師・随筆家の宮子あずささんをお招きしてお話を伺います。宮子さんによれば、「病むことに関わる大変さは、常に意思決定を迫られるからだと思うのです。」とのこと。当事者の目線の方、看護業界でない方にもきっと響くお話だと思います。

日時

2018/6/17.Sun: 14:00 - 16:30 (13:30開場)

場所 **上智大学 6号館 2F 202 教室**

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya.html

JR 中央線/東京メトロ 丸の内線・南北線 四ツ谷駅 徒歩5分

申し込み方法

◎申込方法: 氏名(ふりがな)、〒、住所、携帯、メールアドレスを記入し、「ケアの哲学入門第2回申込」と書いて、下記からお申込みください。

<https://goo.gl/forms/uTEYCpCdAtFFEzPm1>

FAXによる申込先 050-3737-2636 後藤哲男 宛て
どなたでも参加できます。

終了後、懇親会を予定しています。

(各自が飲食した分をお支払いいただきます。)

問合せ

メール: ANA71805@nifty.com (入江) 090-9146-6667 (関根)

主催 **ベグライテン** <http://begleiten.org/>

ミシュカの森 <https://ja-jp.facebook.com/mforest/>

共催 **上智大学哲学科**

